PBLによるSDGs啓発教育

DNP

©2020 Dai Nippon Printing Co., Ltd. All Rights Reserved.

DNPって１

創業　　：1876（明治9）年10月9日

資本金　：1,144億6,476万円

売上高　：1兆3,354億3,900万円

従業員数：37,062名

（2021年3月31日現在）

	【国内】	【海外】
営業拠点	38か所	27か所（17の国と地域）
製造拠点	61か所	15か所（8の国と地域）

DNPって２

事業ビジョン

P&Iイノベーションにより、
4つの成長領域を軸に事業を拡げていく。

DNPが強みとしてきたP&Iを基盤に、社内外の資源を組み合わせ、
斬新なコンセプトで、より能動的に新しい価値を創造していきます。

書籍・雑誌（電子も）

カード

4つの「成長領域」とは

人と社会の課題をいち早く捉え、新しい価値を提供する対象として、次の４つをDNPの成長領域として策定しました。

「知とコミュニケーション」

高度情報化社会において、価値ある情報を、安心・安全に、最適なかたちで伝えることで暮らしを支え、文化を育む分野。

「食とヘルスケア」

高齢化社会の中で、安全で質の高い生活や、生涯にわたる健康維持を目指す分野。

「住まいとモビリティ」

生活者の価値観の多様化によるパーソナル空間への要望の高まりに対して、より高い快適性の実現を目指す分野。

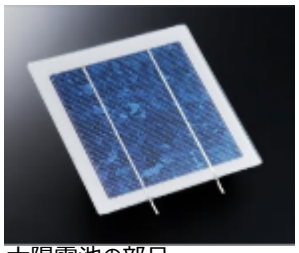
「環境とエネルギー」

経済的な成長と環境保全の両立を実現するために、低環境負荷社会の実現を目指す分野。

DNP

紙器・ペットボトル

住宅などの木目印刷


太陽電池の部品

半導体用フォトマスク(回路原版)

■SDGs 啓発教育

Confidential DNP

PBLワークショップを活用したSDGs啓発教育

社会課題に対して考え、行動するワークショップ型SDGs教育プログラム

プロジェクトベースドラーニング(PBL)とは

日本の文部科学省をはじめ、各国で力を入れている、子どもたちが主体的な課題発見・解決を行い、未来の素晴らしい生活者になるきっかけを創る教育手法です。

コーポレートブランディング向上

SDGsはその活動と発信が皆様の**コーポレートブランディング向上**につながります。

SDGs x PBL=コーポレートブランディング向上&社会的インパクト獲得

SDGsは子どもたちに持続可能な未来の必要性を伝えるだけでなく、
皆様がイニシアチブをとって社会的な影響をもたらすことが可能です。

ご提案

絵本やマンガ、音楽やアートなどのコンテンツを活用したワークショップを通じて、
子どもたちのSDGsの意識変容を促すお手伝いを皆様に呼びかけています。

	Indonesia	Thailand	Taiwan	Malaysia	Vietnam
City	Jakarta etc.	Bangkok etc.	Taipei etc.	KL etc.	HCM etc.
Number of Schools	1800	1000	360	300	100
Number of Students	620,000	570,000	390,000	120,000	50,000

学校は、学費、成績、地域、生徒数、教師数などで分類ています。

<利点>

- **PBLで自治体・企業の社会貢献が子どもたちに浸透**
- **プロジェクトを通じた地域社会のSDGsに対する意識向上**
- **国内外での未来の関係人口創出**
- **自治体・企業のブランド向上**
- **アジアとのグローバルキッズコミュニケーション**

■SDGs x PBL とグローバルコミュニケーション

DNP

プロジェクトベースドラーニングとは、こどもたちが主体となって社会問題を発見・解決する学習方法です。

主体性・協働性　／　グローバルコミュニケーション　／　実社会とのふれあい

国境を越えたコミュニケーション
(文化・言語の多様性を経験)

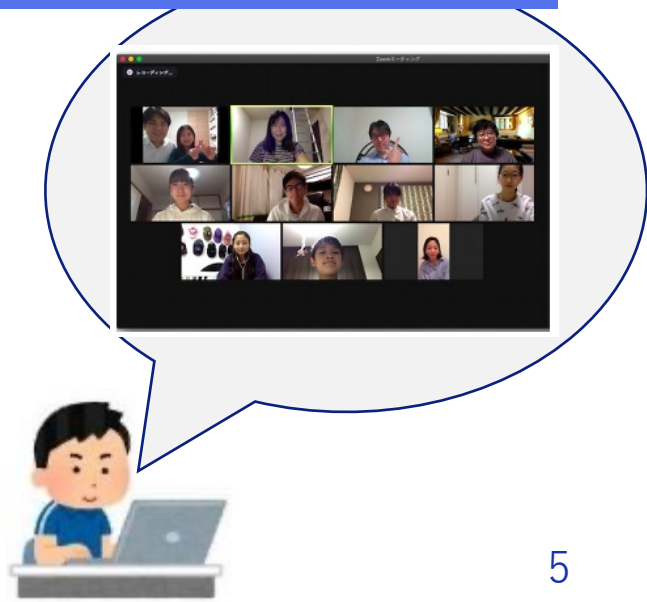
“子どもたちの意識の変革 ”をサポート

- **SDGs教育に貢献するコンテンツを活用したオンラインワークショップ。**
- **子どもたちに課題発見、解決策発見、批判的思考を促す**
- **子どもたちと一緒に、地域の問題に気づくためのコンテンツを作ります。**

音楽によるコミュニケーション

自然保全課題

海洋プラスティック課題

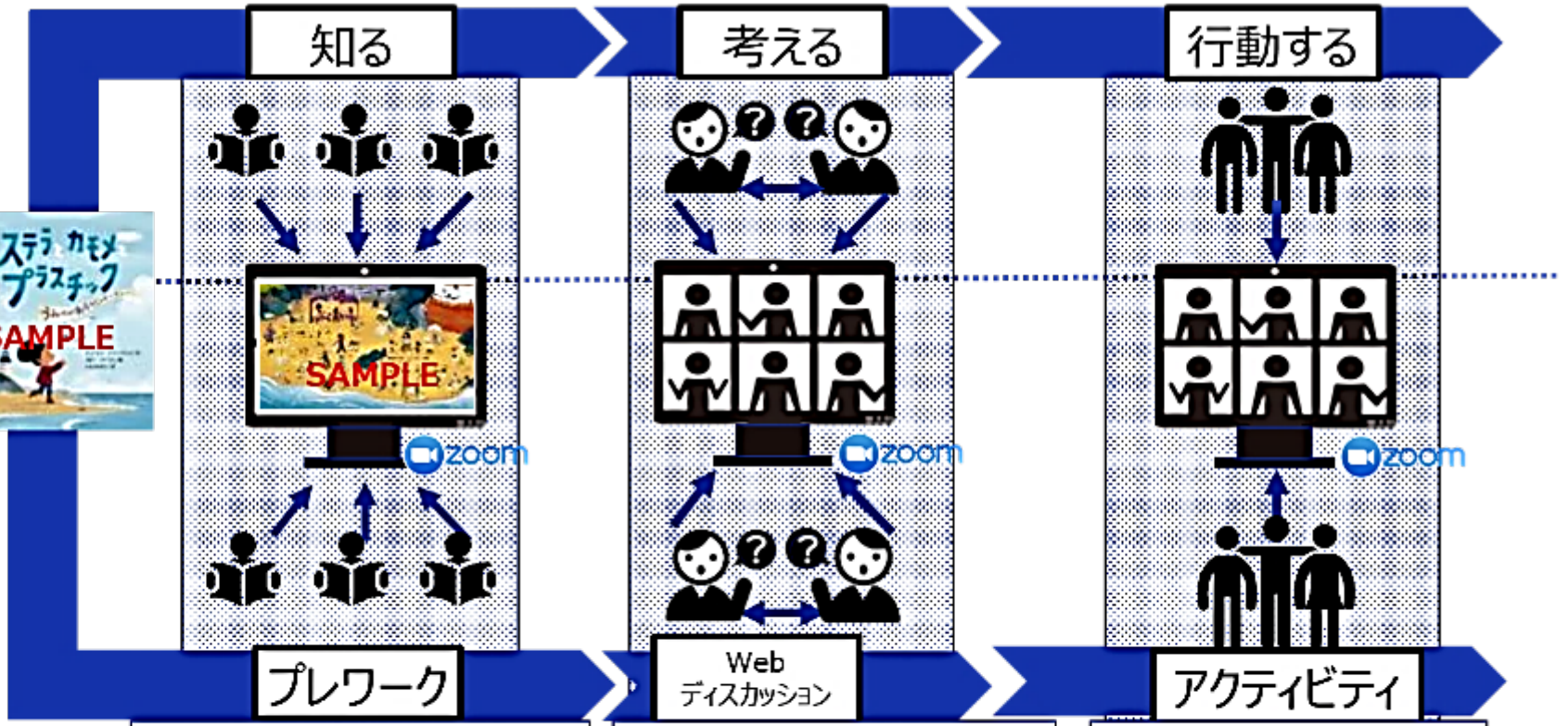


オンラインPBLの例

例)都内学校

関係人口構築

例)国内外学校・地域



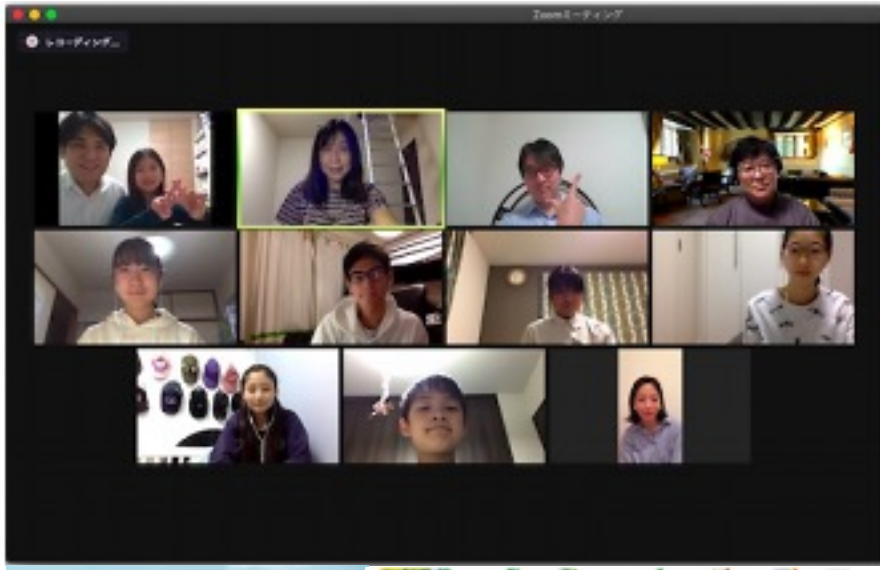
プロセス① オンライン絵本読み語りリレー
- ○zoomを通して、絵本をリレー形式で読み語り
- ○読み語りリレー動画作成
- ○絵本を日本小学校に贈呈

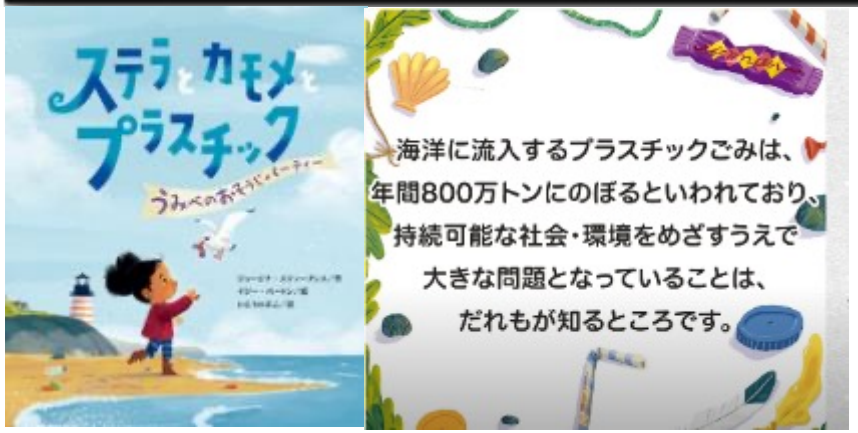
プロセス② ： Webディスカッション開催
- ○子どもたちのグループを組む。
- ○zoomを通し、海洋プラスティックごみに関して意見を述べ合う。
- ○発表するための意見案を作り、代表者選定

プロセス③アクション発表会
- ○グループごとに発表する
- ○他グループからの質問や意見を受ける
- ○投票等で興味深い案を選出、

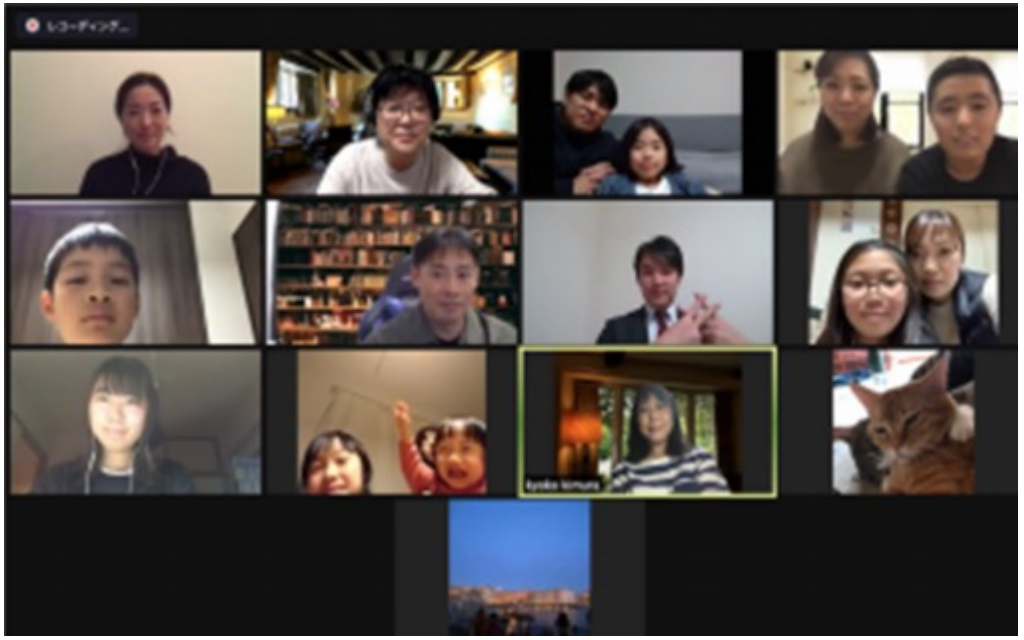
事例１　SDGsの課題、海洋プラスチック問題を描いた絵本を活用したPBL。

DNP





DNPは、海洋プラスチック汚染がテーマの絵本「ステラとカモメとプラスティック」を活用したオンラインPBLワークショップを開催しました。このオンラインイベントは、2020年11~12月に開催され、東京と地方の子どもたちがSDGsをテーマに交流しました。



事例２　日比谷音楽祭：オンライン民族音楽舞踏イベント

DNP

DNPは、2021年5月29~30日に開催された「日比谷音楽祭2021」のコラボレーションイベントとして、
タイと日本の子どもたちが音楽やダンスを通じて交流するオンラインイベント「Asia Music Party」を実施しました。

タイの子どもたちは彼らの民族音楽を奏で、
日本の子どもたちはその音楽に合わせて、
各自宅で踊りました。

事例３

DNP

JAPAN × JORDAN × NEPAL

“遠いあなたと／扉の先へ”

FUKUROSHO 北区立袋小学校6年1組&2組

日本の小学生がネパールやヨルダンの子どもたちと交流し、世界のつながりを体験しました。世界から「『関係ない』をなくす」をテーマにした1年間のプログラムとして、交流を通して感じた気持ちやメッセージを、自分の言葉やメロディーで音楽にして、他国の子どもたちと共有することができました。2019-2020年、1年間の活動です。

Cebu, Philippines × Japan

"Music, It's Our Life"

Cebu Music Project with Yurina Maeda

"Music, It's Our Life"
Cebu Music Project with Yurina Maeda

セブから世界に向けて

発売元：WORLD FESTIVAL LABEL
1曲ボーカルオフトラック（band ver.）入り／デジタル販売
Cebu Music Project / Yurina Maeda / WORLD FESTIVAL Inc.

※NPO法人セブンスピリットを通じて、売上の一部がアーティスト（子どもたち）の育成資金として活用されます。

販売価格：¥300（税込）

BUY

フィリピンのNPO法人セブンスピリットに通う様々な背景（ストリートチルドレン、スラム、中産階級など、3歳から18歳まで）を持つ子どもたち約60人が、「世界へのメッセージ」をテーマにした曲を共同で制作し、発信・販売しました。教室で音楽を習うだけの子どもたちにとって、作詞・作曲をするのは初めてのこと、彼らの中にある気持ちや才能、可能性をもとに、自分たちの生きた証となる曲を作ることができました。そして、さまざまな国や文化の人たちがそれを買い求めました。2016年の1週間の撮影プロジェクトです。